This copy has been provided by the UBC Archives [or UBC Rare Books and Special Collections] and is to be used solely for research or private study.

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-16

II. 32

PLEASE RETAIN
ORIGINAL ORDER

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-16

農村社會の青年團体

一、農會　農産物共進會　Agriculture Association
　　の作る　養鶏部
　　牧蓄部
　　エユニヤーフワーマー部

其の中のエユニヤーフワーマー部は小學生に作物の種を供給し、子供に農業奨励の目的で共の共進會迄に耕作させ出品をせる農會の事業が時々手入れを見て廻り成績表を作る。

養鶏も養牛も子供を出す、大人部の方は日本と同じく農業技師のガイド（指導）の世話をする。

二、Board of Trade（日本の高議と同じ）

此の團体は會員は村の職業全部を網羅し村の產業發展と文化施設の促進に貢献する。

三、農村の特產物の広告や移住者の歓迎と便宜、他村との連絡

僕も此團体の後援と共に十五年働いた。

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-16

民主農村社會の發展過程（ニホー村）

世界的に珍らしい奥地の山村で有名なこの五十哩上流の一寒村（昔時人口僅か五百伝えで雑貨店一つに郵便局も無く交通（秋）業にして店を開く者（ステーションとなった）一九一三年頃）それが現在人口七千を越し、鉄道（バスの交通自在に、産業はレンガ工場、製材所、其他農産組合、養鶏組合、銀行、ホテル、ハイスクール、エレメンタリー。教會四、活動寫眞館一、劇場一、其々都市の娯樂機關の大部分を備へた處。商店十余軒、時計修繕、グラーデ五台、飼料店二軒、皆それ〳〵繁昌し電氣水道及び下水の設備も出來た處。

其の三十年の發展過程を僕自身で体驗し一九三九年に歸つて見た立花＝昔時立花にも電話（官設の）と電気一燈即ち蒸気ポンプはあつたが＝と比較して参考にする

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-16

一つの文化施設を作ろうと云う
防設備・水道・電話等
提案し調査し研究した上で可能性を
めたら直ちに新聞を喚起し輿
論の動きを見て村会へ持ち出し村会が
公式に一般賛否と村費の負担を村民の投
票に依って決定する。
償の提案で政府へ交渉し村の陳情の
機構を新設せんとするものである。
此の外未知の農産物などはぬ内の各村
連合で研究し土質、気候に合ふものは
これを居村農家にすすめる。等々
三、PTA 或れは今日にやつて居る様な
児童教育に関する
仏、父母の教育から政治への
の提案をやり、償は共同会へ
とをを依頼とをを働らいたの。
叱、婦人会。
婦人関係の指導問題
即ち衛生、

WOMAN'S INSTITUTE

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-16

育児・家庭婦人の諸問題を扱う会
(婦人聯合会と連絡し、イベントや生活
の昇上、物価あどについて常に協同戦線を
張ること。

氏の図体も居村の続生設備改善
や文化設備の促進に輿論を喚起する
ため一大勢力を成しプロレキュルト体育部門
を含むとし一週一二回つゝ猛練習を
続ける。

居村おゝ揃ふその様なホール(含銀)があり
て一般の娯楽・集会に使つてゐる。
各村に一つ乃至二つ含銀の含村は
殆どなく、社交的な交
精神教育の諸問題
一ヶ村に含ふ流の教含
宗・臭言・落土宗とそう

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-16

にも私教、旧教からの新教にもメソヂスト、
バプテスト、プレスビテリヤンなどが沢山あるが、カト
夕には、五別派から合同をなした合同教
会と言う私教派が大勢力がある
私の居村にも四教会に五派教所が
ある。毎日曜一回牧師の説教があるが
其前一時間日曜学校があり、各自
の信者が先生となって教会を定めた普通
課目（バイブルの抜粋）を教へる
外に青年のバイブル研究班もある
教会附属諸団体
ホーイ　ろかウトにがールがイ
YMCA　キリスト教青年会
YWCA　女子青年会。
婦人伝道団
奉仕作業部　此の団体は主とし
て男子の篤信者の集りで村内の各種奉
仕の業の指導者を出す。

YAMAGA YASUTARO PAPERS

FOLDER NO.
2-16

カナダは一二を第一代から英国から移民が
来初めたの移住である（西へくと
出し米大陸へ行かり方を多く
発見後の移民には必ず牧師、宣教師が
同伴し移民の子弟の教育と移民社会
の指導者は常に教会が供給したのである
ある、其の教育者や指導者は全部
アングロサクソンの生活理想＝キリスト教を
基礎とし佛蘭西移民の伝統的「自由平
等」を標とを織りあしたのがカナダの
各団体の指導者達は常に団結を捨
て、現状に安せず常に一歩でも
建築に興論を動かしつつ、指導
フレザー河は河巾が一哩半もあるので南
岸西岸の交通が私の居村では橋迄に
約廿哩あるので南岸の村のホートオブトと
共同で汽船を設備する迄

YAMAGA YASUTARO PAPERS

FOLDER NO.
2-16

動を起し、ようく四年目に政府を動かして設置をつけさせた。文化面性が低く、漫と信じ込んでは困るが、政府に補助させるのが一致を要求するのである。政府と村との関係は不足だからという理由もあるが、一村の興論が一致を要求するのである。

日本では金持ちに文化施設をしてもらうのが当然のようになっているが、清教徒にかける、文化施設の興論を結ぶ程度の興論が必要である。

カナダの農村には読書の指導者がいる。カナダの農村の指導者は大学の教授や弁護士等々

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-16

ハイクルに下受くるを奨つるは幸ひ也
を言ふ教へがある、力士などの指導す者達
ふへるまを理想として居るボーイスカウト
やガールガイドの訓練の根本精神もこれ
ある、遊びたい盛りのボーイスカウトやガル
達が自分を犠牲して交通整理や老人の
助けをし他の危急を救ひ慰安をし、皆人世に尽へんとする教育も多
青年や村民の指導も自分の持つ才能
と時間とおそつもモネーまでも出して社会奉
動に捧げんと言ふ人が次々と出て来
る、隣つた村の文化的施設も常に新
しい考へが提案を此実行に移さ
又た社会一般も教育や文化施設の為
めには惜しけなく提案を援助する、
又た一般社会人が「今てんと言ふ人々」
を尊敬するやうな方なの社会理想を実
行するからであり、真人々を「善良なる市民」

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-16

と呼ぶのである。村長は名誉ある
名く村長と成って村に於ける功績の量
に依って名誉が定まるのである、民主
社會では精神善導と人類社會の
爲へた量に依って定まるのである、教會の牧
師は克く通費は半額で済むのであり
権を与へられて居るが彼れは其一生を
神と人類社會に捧げて居るからである
キリスト教徒にも信神論者も不信の徒
も友達甲も、デカダンも居る・・・・
と云う人達には其等総てを
等敬して居る。労働運動
が叫ばれも在るが正義流が力
に成って労働運動も共産
に成って労働運動も共産
一九四八、八月、三日

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-16

高花は地理的にもう改良したり
伸ばしたりする余地がないのかも
しれんが、きりとって五十年一日の如
しはチトひどい、僧が小学校へ通
ずるにデカキ道や コイ心？
孫の時代迄繰返すのだから
本洋の生活標準が上りあい
うむ会現で「お宮」の境
に祭動機すえた船がうんたのも
「我等から」と早稲さんが紙
くれた。こちらではとんお小漁者
でも橋、かいで漁業はしまい、皆
祭動機である高度がトラク
でも高貴しそうする、我家僧が居た
へんし村は東西八哩南北二哩り
長い地域なが已に東面の新道に

LTD FRE
SE
NGER COLLECTION
GTON, VIRGINIA

YAMAGA YASUTARO PAPERS

FOLDER NO.
2-16

十五分おきに八文が通じて居る。
凡ゆる都市の文化設備を取り
入れた郊外都市に住まう事は
仕合せだと思う。僕の居る時から
電燈も電話も自宅についた居た。自動車も持つて居た。一面性が日本
でもこう言う田舎迄が作り
得る時代が来たからこそ僕が
こんな事を書くのである。下大崎
の一角迄電話をひく事と
私すがでやつて居る位だから
我も知恩報徳の念は忘れぬ。

佛教では哲学的に五濁悪世だ
とか憂き世だとか謂つて来世の
幸福を理想つける。民主主義
は文化は「HAPPINESS」だと言
ふ人世の幸福を過ぎ求める生活

YAMAGA YASUTARO PAPERS

FOLDER NO.
2-16

が文化だと言ふの
級が永久の生活に
求する芸術に
「現状に満足しない」
運動や社會運動
がある。民主
を政治化する、
覚の目標はここに
力をもつ政府(
を実施するために
債を三人で一年
医療、病院、運
動をやってゐる、
全部やめてやって
員働した者は
もらえた上に現
凡ゆる階
幸福を追
進歩と改良が
これが労働
の根本動機
家にあれば、
追求する手段
山さんの社會
ここに在る、
物の)が医療保険
成つた、僕は
参拾萬の掛金で
病人の)
労働賠償法は
る、転勤中に
入院一切を
の約割を

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-16

給をうれる。労働不能の大怪我
は一生扶養をうけられる。田、指あど
をくしたら一時金をうけられる。以外
遺家の恩給一老年恩給（七十才
以上一ヶ月約三十五円）
労働賠償の資金は資本家
から出る。以の部門が工場
の安全設備をする
斯うした政治の力が民衆の創意
から出て、代議士がそれを政治化する
今の日本の君主（民意）の立場は昔の民衆
の幸福を増すを目的とする方法を創意
ある者のである。
文化への第一歩は交通の便
にある。次ぎは娯楽機関
る大衆が娯楽出来る設備で
ある。男女打ち混じて酒呑んで乱舞す

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-16

の回りの娯楽は民衆社会の敵
である。久比乃も立花乃も村民
娯楽の中心には村には不相應と思
はれる位な大會館を建てた
（立花の撲滅の半分を思い浮べて
下さい）若い男女が幸
福追求の相談をするのだ。
青年男女の交際は兎角結婚
にも悪影響があり恋愛結婚にも
障害があるが、民主社会では大体
男女互に知り合ふて結婚するの
が原則である、若い知り合いは世間
機会を作るのが右の会館の娯
楽、社交の大きな役目である、カフ
エーは教育が回覧学校、青年会
清い娯楽、社交を指導して
呉れ、その変形は村の青

YAMAGA YASUTARO PAPERS

FOLDER NO.
2-16

今年のとりが（指導は教会
・結婚が主にやる）辯論・スポーツ
演藝・公共運動などに男女相
識る機会を作る。而して結婚に行く
親の許を得て二人で活動に行く
散歩する。婚約・結婚とある

田舎の方は少しうるさくうるさく
あいだろう。老人の頭と行き過ぎの
青年男女と従来の悪風（ヨアル）
が急には根こつか赤いかも
生活を樂しむ"家中がくらく
働らいて居ては生活の樂しみは全
が薄きのを見るだけだが全が薄ら
ばそれは酔生夢死の一生である
式の人生は社交をよくやる・お茶
の會・ハガキ・葉書（女）
旅行・家族連れの自動車野外
旅行・釣のホハピー（遊樂）

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-16

[redacted]人の働らくのは一週に十時間
即ち八時間つゝ五日
己の生活を楽しむ時間にあてゝある。
吧の時間で充分生活を維持
給料を貰つて居る、呑気に生活を楽
しんで居るから自然人間が揚気に
成り悪気がなく（七千カラー生活者
る西人のやうにコセ〳〵せぬ、アメリカの
無陽の気新気を動
日本の農村は全体的にあてはまるが
成金にあり娘の嫁入りに数千万円使ひ
労働に見るが（まだ世人にはめられる
為めからう）あんなのは民主社会に
は見られぬ、日本も早く「あの心がけ者を
見よ」と成金を笑ふ時代が来ねばだめだ
八月十五日夕暗く